

議題 1

平成29年度事業実績報告及び平成30年度事業の取り組み

1. 健康寿命

到達目標		健康寿命を延ばす				
計画全体に対するアウトカム指標として、健康寿命を延ばすことを到達目標とします。						
	平成24年 平成24年10月1日時点	平成25年 平成25年10月1日時点	平成26年 平成26年10月1日時点	平成27年 平成27年10月1日時点	平成30年(目標) 平成30年10月1日時点	
男性	79.8歳	79.9歳	79.5歳	80.3歳	80.4歳	
女性	83.7歳	83.0歳	81.4歳	81.8歳	83.5歳	

2. 健康増進計画

(1) 重点的取り組み1

重点的取り組み1		生活習慣病の発症や重症化を予防する取り組みの充実				
がん検診の更なる受診率の向上のため、検診未受診者に対する再勧奨を行います。						
事業計画：大腸がん検診未受診者に対する再勧奨による受診率						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	10%	10%	15%	15%	15%	
実績	8.2%*1	18.0%*2	—	—	—	

*1 再勧奨対象者は、41歳で前年度検診及び当該年度5～7月に実施した検診の未受診者948人。

*2 再勧奨対象者は、41歳の過去2年間の受診者と当該年度の検診申込者のうち、5～6月に実施した検診の未受診者100人。

平成30年度の取り組み

事業名	内容
大腸がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 大腸がん検診の受診率向上のため、他の健診との同日実施の設定や検診日数を2日増加し受診機会を拡充するとともに、イベント等で広く市民に対し周知啓発を行う。 5～6月に実施した大腸がん検診未受診者のうち40～69歳の者に、はがきによる再勧奨を実施する。

(2) 重点的取り組み2

重点的取り組み2		地域における支え合いや、地域での活動を通じた健康づくりなど、子どもから高齢者までがいきいきと暮らせる地域社会づくりの推進				
健康は個人の努力だけでなく、個人を取り巻く環境にも大きく影響を受けることから、全体で9か所ある小学校区を単位として、地域のつながりを重視した健康づくりに取り組みます。						
事業計画：健康づくり講座を実施する地域						
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	3か所	3か所	6か所	6か所	9か所	
実績	0か所	0か所*3	—	—	—	

*3 (仮称) 梨トレ体操第2を媒体とした地域ぐるみでの健康づくりを計画していたが、体操が未完成のため、平成30年度に向けて自治会等との関係づくりを行った。

平成30年度の取り組み

事業名	内 容
地域の健康づくり (地区活動)	・学校や自治会等と連携し、8月に完成した「白井梨トレ体操第2」を活用して、運動習慣の大切さなどを周知啓発するとともに地域ぐるみでの健康づくりを支援する。

(3) その他主な取り組み

事業名	内 容
住民健（検）診	・特定健診及び後期高齢者健診の個別健診導入に関し、関係課及び市内医療機関と協議する。
こころの健康教室	・市民がこころの健康を保てるようにするため、精神保健福祉士を講師としてストレスにより生じる心身の変化やストレスへの対処法などを学ぶ教室を実施した。(8月19日に開催、参加者30人)
ゲートキーパー(命の門番)養成講座	・母子保健推進員等にゲートキーパーの役割や対応方法を理解して活動してもらうため、話の聞き方や相談窓口など専門機関へのつなぎ方などゲートキーパーの役割や技術を学ぶ講座を実施する。(1~2月頃実施予定)
受動喫煙防止対策	・平成30年度4月から5月にかけて、指針に基づき市庁舎を含む20施設の敷地内全面禁煙を開始した。 ・今年度までに敷地内全面禁煙を開始した施設管理担当者からの継続のための課題の聴取や平成31年度から取り組み始める施設管理担当者との実施に向けた調整を実施した。(9月5日に担当者会議を開催)
COPD 予防教室	・COPDの発症及び重症化予防を図るため、森谷医師を講師として、教室を開催する。(12月1日開催予定) ・肺がん・結核検診の間診票でCOPDのスクリーニングを行い、ハイリスク者には、結果とともにCOPD予防教室の案内を送付する。

(4) 会議等における関係機関からの意見(平成29.30年度)

会議名等	内 容	関係機関からの意見等
保健衛生事業計画 医師会議 平成29年10月2日	新型インフルエンザ対策	・ワクチンの接種方法や症状がある人への対応を具体的に考えておく必要があるのではないか。
庁内健康づくり 推進会議 平成30年8月6日	地域の健康づくり	・市民団体やPTA等の協力を得て、地域のイベントで運動習慣の大切さの啓発をしてはどうか。
	受動喫煙防止対策	・各施設で敷地内禁煙の開始日が異なると、市民の理解を得にくいのではないか。

(5) その他の事業実績及びめざそう値の達成に向けた経過 別添資料参照

3. 食育推進計画

(1) 重点的取り組み1

重点的取り組み1		生涯にわたるライフステージに応じた食育の推進			
生涯健康で過ごすためには、健康的な食習慣を身につけることが大事です。 子どもから大人まで、主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事がとれるように、地元の野菜を取り入れた料理の紹介を行います。					
事業計画：広報などで地元の野菜を取り入れた料理の紹介					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	12回	12回	12回	12回	12回
実績	12回	12回	—	—	—

平成30年度の取り組み

事業名	内 容
おすすめレシピの啓発	バランスのよい食生活の大切さと地産地消を啓発するため、広報しるいに食生活改善推進員が考案したレシピも取り入れて掲載している。(12回掲載予定/うち推進員メニュー6回掲載予定)

(2) 重点的取り組み2

重点的取り組み2		食を通じたコミュニケーションの推進			
家族や仲間と一緒に食事を楽しむことは、心や体を元気にしてくれます。 ^{きょうしょく} 共食の機会が増えるよう、その大切さを伝えていきます。					
事業計画：教室などで ^{きょうしょく} 共食の大切さについて啓発の実施					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	30回	33回	35回	38回	40回
実績	25回	30回	—	—	—

平成30年度の取り組み

事業名	内 容
各種料理等の教室事業での共食の啓発	食を通じたコミュニケーションの推進のため、各種料理等の教室で共食の大切さについて啓発している。(35回実施予定)

(3) その他主な取り組み

事業名	内 容
各種料理等の教室事業	より多くの市民に参加してもらうため、調理実習形式から試食配布を含めた講義形式とし、1回の定員枠や回数、テーマの充実を図る。 ・H29 健康料理教室 (18人/年4回、1テーマ、実績：40人/4回) ・H30 ヘルシー食育講座 (30人/年6回、3テーマ、実績：54人/3回)
	ニーズに合った教室となるよう、食生活改善推進員が内容やテーマを再検討し、一部変更して実施する。 ・H29 男性料理教室 (15人/年4回、実績：42人/4回) ・H30 男性料理教室 (15人/年2回、実績：13人/1回) (新)健康知っ得料理教室 (15人/年2回、実績：12人/1回)

<p>市内飲食店や販売店での食育推進事業の実施に向けた事業紹介及びアンケート調査</p>	<p>まちをあげた食育の推進に取り組むため、市内飲食店や販売店において食育推進の啓発方法を関係団体と共に検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生講習会での事業紹介・アンケート調査（6月14日実施） 講習会参加 138 店舗、アンケート配布 116 店舗 うち回収 91 店舗（回収率 78%） ・各店舗における聞き取り調査（H30.7～実施中）
<p>しろい食育サポート店事業</p>	<p>まちをあげた食育の推進に取り組むため、市内飲食店や販売店において、健康的な食事に関する情報やメニューを提供する「しろい食育サポート店事業」の実施要領を栄養士連絡会議等で決定する。</p>

（４）会議等における関係機関からの意見

会議名等	内 容	関係機関からの意見等
<p>栄養士連絡会議 平成 30 年 8 月 27 日</p>	<p>しろい食育サポート店事業事について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ちば協力店の登録基準の変更内容も考慮して、市の基準を決定したらどうか。（印旛保健所） ・登録基準の1つである野菜の量について、市が実際に提供している量やメニューを把握する必要があるのではないか。（印旛保健所） ・多くの店舗に登録してもらえよう、登録基準は複雑にならない方がよいのではないか。（会員）

（５）その他の事業実績及びめざそう値の達成に向けた経過 別添資料参照

4. 歯科口腔保健推進計画

(1) 重点的取り組み1

重点的取り組み1		生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化			
妊娠中の歯科疾患重症化予防のため、新たに妊婦歯科健診を実施します。					
事業計画：妊婦歯科健診受診率					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	25%	25%	30%	30%	35%
実績	12.2%	18.9%	—	—	—

平成30年度の取り組み

事業名	内 容
妊婦歯科健診	妊娠中の歯科疾患重症化予防のため、市内契約歯科医療機関において妊婦の歯科健診を実施している。受診者数（見込み）95人

(2) 重点的取り組み2

重点的取り組み2		生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実			
生涯を通じた口腔機能の維持改善のため、新たに後期高齢者歯科健診を実施します。					
事業計画：後期高齢者歯科健診受診率					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	10%	10%	15%	15%	20%
実績	1.2%	15.5%	—	—	—

平成30年度の取り組み

事業名	内 容
後期高齢者歯科健診	生涯を通じた口腔機能の維持改善のため、前年度75歳に達した者を対象に県内契約歯科医療機関において歯科健診を実施している。対象者782人、受診者数（見込み）120人

(3) 重点的取り組み3

重点的取り組み3		歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築			
歯科口腔保健推進計画の具体的取り組みを市民と協働で推進していくため、(仮称) 歯科口腔保健推進ボランティアを育成します。					
事業計画：市民と協働で実施する普及啓発活動に参加した市民の数					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	10人	10人	10人	20人	20人
実績	6人	6人	—	—	—

平成30年度の取り組み

事業名	内 容
歯科口腔保健推進ボランティアの育成	市民と協働で計画を推進するため、歯科口腔保健推進ボランティアを育成します。(追加募集を行い、平成30年度から3人増員する。)

(4) その他主な取り組み

事業名	内 容
介護を必要とする人等の歯科健診受診等の実態把握	【新規】介護施設への歯科実態調査の実施 (市内介護入所施設 15 か所に対して 30 年 11 月に実施予定)

(5) 会議等における関係機関からの意見

会議名等	内 容	関係機関からの意見等
保健衛生事業計画 歯科医師会議 平成 30 年 8 月 29 日 平成 30 年 9 月 3 日	歯科口腔保健推進事業の評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科治療中患者に対する市の歯科健診受診勧奨の説明が必要ではないか。 ・ 介護施設への実態調査表に要支援者の項目を追加したほうが良いのではないか。 ・ 地域包括システム構築についての概要等を本会議で説明していただきたい。

(6) その他の事業実績及びめざそう値の達成に向けた経過 別添資料参照

5. 自殺対策計画

事業名	内 容
自殺対策計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 次しろい健康プランの 4 つ目の計画に位置付け、健康プランの審議組織である健康づくり推進協議会に専門委員(精神保健福祉士)を加えて、庁内・庁外の会議を経て計画策定中。 ・ 12 月から 1 月にかけてパブリックコメントを実施予定。 ・ 12 月に千葉いのちの電話との共催による講演会を開催し、こころの健康や自殺対策の必要性等と共に自殺対策計画の策定やパブリックコメントの実施について広く市民に周知する。